

2022年度 第2四半期 決算説明資料

2022年11月9日

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

連結損益概要

(億円)

	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	5,084	5,509	425	8.4%
営業利益	81	▲120	▲201	—
経常利益	97	▲74	▲171	—
当期純利益*	22	▲221	▲243	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、価格修正の効果発現などにより、前年同期比で増収
- 原燃料価格の高騰による厳しい事業環境が継続し、営業損失を計上
- 秋田工場N1抄紙機などの停機決定に伴う減損損失を計上

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比
紙・板紙	2,614	2,714	100	▲2	▲99	▲97
生活関連	1,897	2,123	226	18	▲53	▲71
エネルギー	148	197	49	11	▲19	▲30
木材・建材・ 土木建設関連	285	334	49	35	39	4
その他	140	141	1	19	12	▲7
合計	5,084	5,509	425	81	▲120	▲201

増減要因内訳

(億円)

数量・売価	167	－
原燃料価格	▲368	チップ ▲52、古紙 ▲51、パルプ ▲5、重油 ▲8、石炭 ▲149、 LNG ▲20、薬品他 ▲83 (価格影響 ▲271、為替影響 ▲97)
コストダウン等	70	原価改善 19、釧路・石巻停機影響 31、石炭削減効果 24 労務費 2、物流費 ▲6
その他	34	海外事業 3、減価償却 10、退職給付費用 4、受払影響ほか 17
紙・板紙事業	▲97	
生活関連事業	▲71	国内▲37：家庭紙・ヘルスケア ▲22、パッケージ ▲12、ケミカル ▲3 海外▲34：Opal 9、NDP ▲43
その他事業	▲33	エネルギー ▲30、木建土 4、その他 ▲7
営業利益	▲201	
営業外損益	30	金融収支 4、持分法投資損益 4、為替差額 23、その他 ▲1
経常利益	▲171	

紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比
2,614	2,714	100	▲2	▲99	▲97

● 国内

- ・洋紙の国内販売数量は、総じて需要が低調に推移し、前年同期比で減少
- ・板紙の国内販売数量は、飲料関係向けの需要が堅調に推移したことなどにより、前年同期比で増加
- ・価格修正の効果が発現し、前年同期比で増収となったが、石炭やチップ、古紙など原燃料価格の上昇により営業利益は赤字となった。

● 海外

- ・原燃料価格や海上輸送費の上昇の影響はあるものの、製品の価格修正を進め、前年同期比で増益となった。

生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比
国内	905	949	44	41	4	▲37
海外	992	1,174	182	▲23	▲57	▲34
生活関連事業 合計	1,897	2,123	226	18	▲53	▲71

● 国内

- ・パルプ、石炭、紙パック原紙など原燃料価格高騰の影響が▲86億円。
- ・価格修正の効果発現や、長尺トイレットロールやペーパータオルの販売好調、充填機販売に伴う拡販による液体用紙容器の販売数量増加はあったものの、前年同期比で増収減益となった。

● 海外

- ・Opalは、シナジーの発現や段ボール製品の販売数量回復などにより、前年同期比で赤字は縮小したものの、原燃料価格高騰や海上輸送の混乱による物流費の上昇などにより、計画を下回った。
- ・日本ダイナウェーブパッケージング（NDP）は、休転を実施したことに加え、海上輸送の混乱に伴う販売数量の減少などにより、前年同期比で減益となった。

エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比
148	197	49	11	▲19	▲30

- ・原燃料価格の高騰による電力価格の上昇などで売上高は前年同期を上回ったものの、石炭価格の高騰や燃料費調整の精算月ずれによる影響で増収減益となった。

木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比	2021年度 上期実績	2022年度 上期実績	前年 同期比
285	334	49	35	39	4

- ・世界的な木材の供給不足の影響などにより、国内原木の販売数量は堅調に推移し、増収増益となった。

連結貸借対照表

(億円)

	2022年3月末	2022年9月末	前期末増減
資産の部合計	16,392	16,973	581
現預金	1,368	935	▲ 433
棚卸資産	1,907	2,387	480
その他流動資産	2,903	2,872	▲ 31
有形・無形固定資産	7,982	8,347	365
投資その他の資産	2,230	2,431	201
負債の部合計	12,006	12,280	274
有利子負債	8,981	8,964	▲ 17
その他負債	3,025	3,315	290
純資産の部合計	4,386	4,693	307
うち株主資本	3,578	3,321	▲ 257
負債および純資産合計	16,392	16,973	581
	2022年3月末	2022年9月末	前期末増減
純有利子負債	7,613	8,029	416
調整後ネットD/Eレシオ *	1.89	2.13	0.24

* 調整後ネットD/Eレシオ = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)

資本性負債：ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額（調達額の50%）

連結損益概要

(単位：億円)

	2021年度 実績	2022年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,451	11,000	549	5.3%
営業利益	121	▲200	▲321	—
経常利益	145	▲200	▲345	—
当期純利益*	20	▲250	▲270	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 通期の業績予想は、8月5日に公表した内容から変更なし。
- ただし、セグメント別営業利益は、上期の動向を勘案し、予想を見直し。

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 実績	2022年度 予想	前年 同期比	2021年度 実績	2022年度 予想	前年 同期比
紙・板紙	5,321	5,400	79	▲56	▲285	▲229
生活関連	3,865	4,200	335	48	▲20	▲68
エネルギー	318	400	82	16	▲5	▲21
木材・建材・ 土木建設関連	645	700	55	76	80	4
その他	302	300	▲2	37	30	▲7
合計	10,451	11,000	549	121	▲200	▲321

主要な前提条件

■ 国内販売数量（対前年）

	下期	通期
新聞用紙	▲9%	▲7%
印刷用紙	▲11%	▲11%
情報用紙	▲7%	▲6%
段原紙	0%	0%

■ 主要原材料価格、為替

	下期予想	前回予想（通期）
為替（米ドル）	145円／ドル	130円／ドル
為替感応度（米ドル）	1円円高で+12億円/年	1円円高で+8億円/年
石炭（豪州炭ベンチマーク価格）	385ドル／t	380ドル／t
原油（ドバイ）	90ドル／バレル	110ドル／バレル
古紙	足元の水準が継続	足元の価格動向を勘案

増減要因内訳

(億円)

数量・売価	562	－
原燃料価格	▲1,044	チップ ▲172、古紙 ▲121、パルプ ▲22、重油 ▲11、石炭 ▲452、LNG ▲49、薬品他 ▲217 (価格影響 ▲743、為替影響 ▲301)
コストダウン等	127	原価改善 49、釧路・石巻停機影響 40、石炭削減効果 58 労務費 1、物流費 ▲21
その他	126	海外事業 5、減価償却 19、退職給付費用 8、受払影響ほか 94
紙・板紙事業	▲229	
生活関連事業	▲68	国内▲39：家庭紙・ヘルスケア ▲19、パッケージ ▲12、ケミカル ▲8 海外▲29：Opal ▲16、NDP ▲13
その他事業	▲24	エネルギー ▲21、木建土 4、その他 ▲7
営業利益	▲321	
営業外損益	▲24	－
経常利益	▲345	

参考資料

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

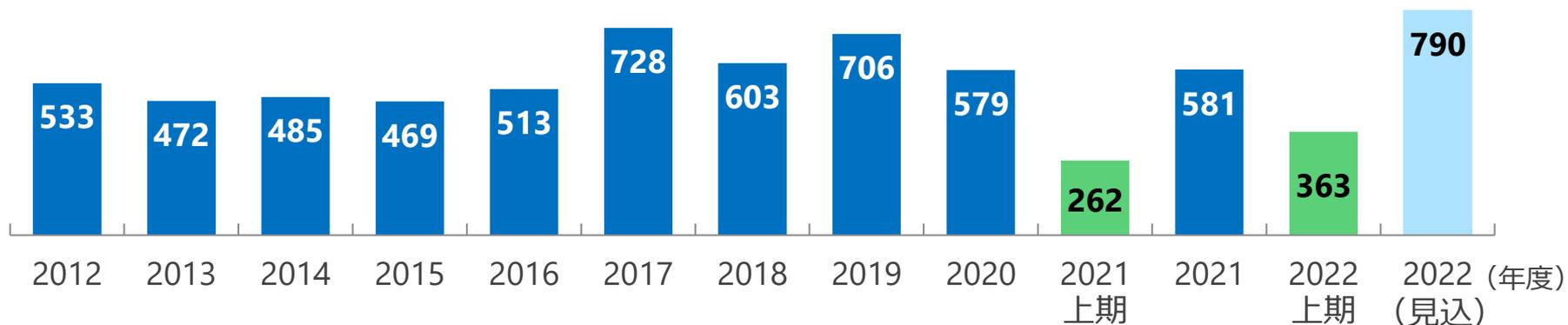
(千 t)

	2021年度 上期	2022年度 上期	対2021
新聞用紙	317	300	▲5.5%
印刷用紙	592	531	▲10.3%
情報用紙	212	202	▲5.0%
その他	159	157	▲1.2%
国内	1,281	1,190	▲7.1%
輸出	131	118	▲9.9%
洋紙 合計	1,412	1,308	▲7.4%
段ボール原紙	828	833	0.6%
紙器用板紙他	163	161	▲0.9%
国内	991	994	0.3%
輸出	93	90	▲2.6%
板紙 合計	1,084	1,084	0.1%
洋紙・板紙 合計	2,495	2,392	▲4.1%

* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

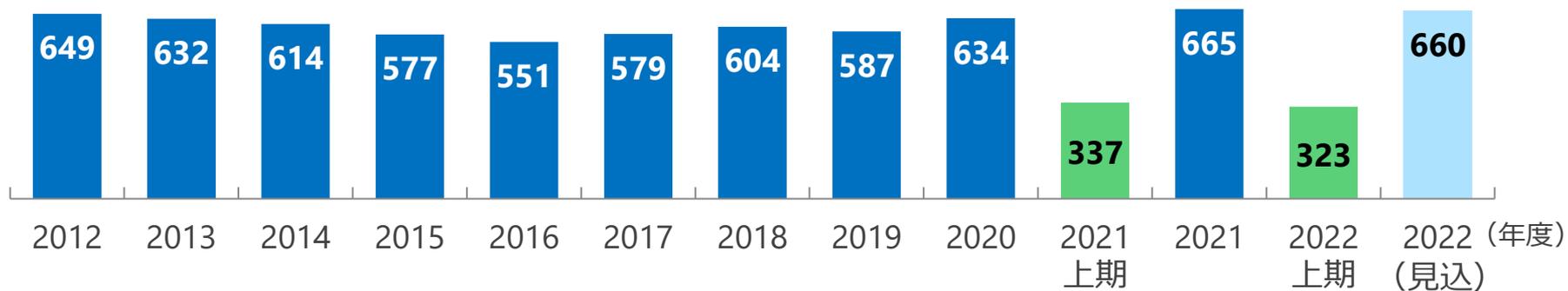
設備投資額

(億円)



減価償却費

(億円)



(億円)

	2021年度				2022年度		2022年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期実績	下期予想
紙・板紙	1,311	1,303	1,346	1,361	1,320	1,394	2,714	2,686
生活関連	919	978	983	985	1,010	1,113	2,123	2,077
エネルギー	64	84	79	91	82	115	197	203
木材・建材・ 土木建設関連	142	143	170	190	167	167	334	366
その他	69	71	78	84	69	72	141	159
合計	2,505	2,579	2,656	2,711	2,648	2,861	5,509	5,491

(億円)

	2021年度				2022年度		2022年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期実績	下期予想
紙・板紙	1	▲3	▲20	▲34	▲22	▲77	▲99	▲186
生活関連	14	4	14	16	▲26	▲27	▲53	33
エネルギー	5	6	2	3	▲3	▲16	▲19	14
木材・建材・ 土木建設関連	19	16	21	20	19	20	39	41
その他	9	10	6	12	3	9	12	18
合計	48	33	23	17	▲29	▲91	▲120	▲80

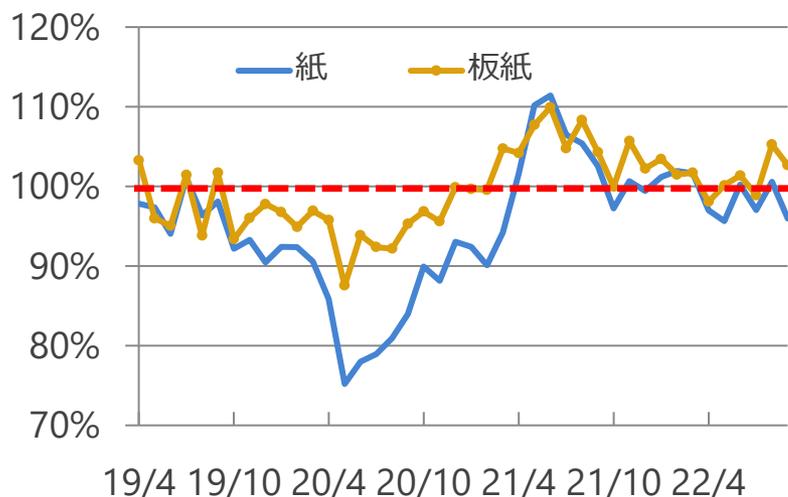
紙・板紙の国内出荷高と輸出入

(千t)

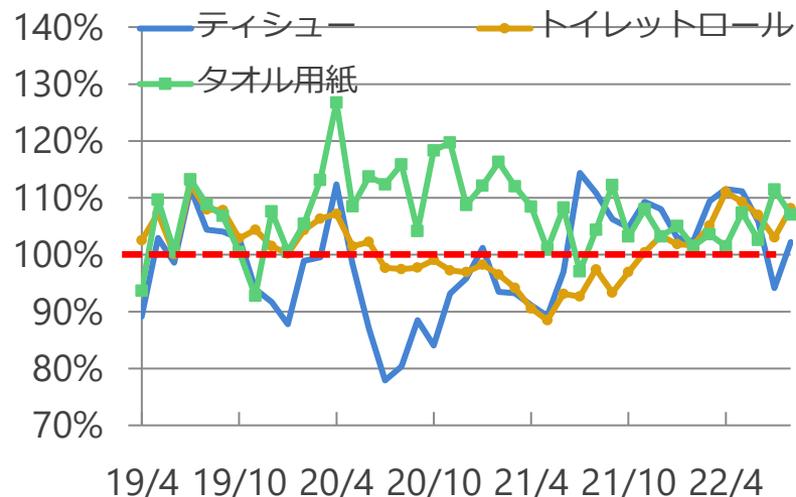
	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2021	数量	対2021	数量	対2021
新聞用紙	912	▲7.1%	0	—	1	▲40.3%
印刷・情報用紙	2,692	▲3.1%	268	▲6.5%	267	▲23.5%
塗工印刷用紙*	1,434	▲1.6%	200	▲8.6%	35	▲70.4%
非塗工印刷用紙	718	▲6.0%	55	2.0%	9	▲54.6%
情報用紙	540	▲2.8%	13	▲5.5%	223	5.8%
その他	1,541	2.3%	141	▲11.1%	26	▲8.7%
紙 合計	5,145	▲2.3%	409	▲8.1%	294	▲22.4%
段ボール原紙	4,591	0.9%	529	5.1%	26	35.8%
紙器用板紙他	1,033	1.2%	30	▲13.4%	130	▲1.7%
板紙 合計	5,623	1.0%	559	3.9%	156	3.0%
紙・板紙合計	10,768	▲0.6%	968	▲1.5%	450	▲15.2%

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

メーカー国内出荷量(対前年)



衛生用紙生産高(対前年)



塗工紙輸入推移

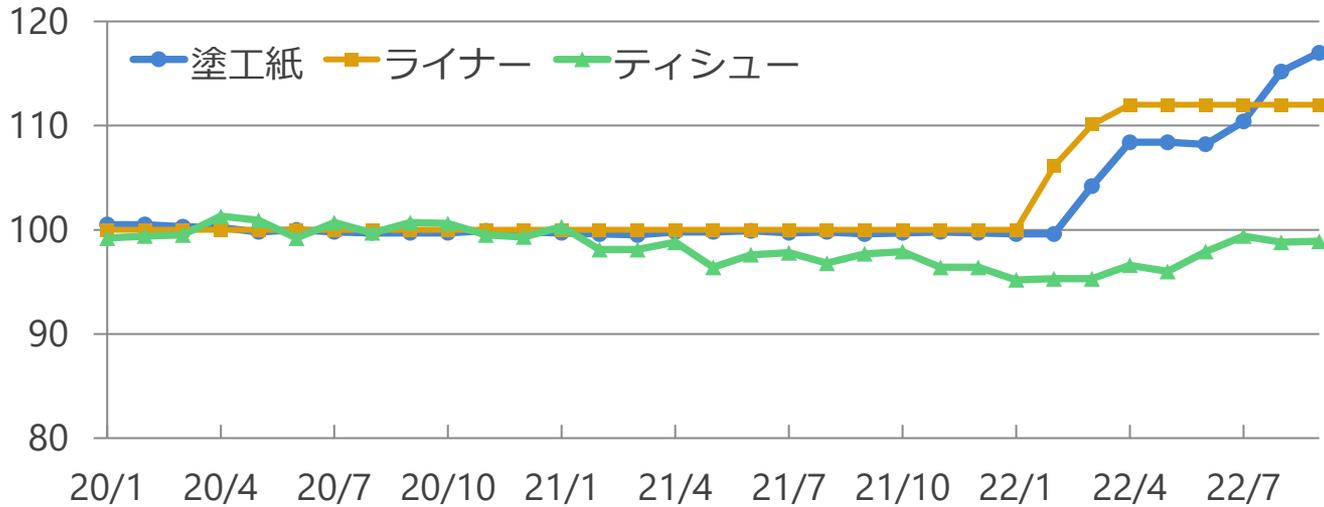


PPC用紙輸入推移

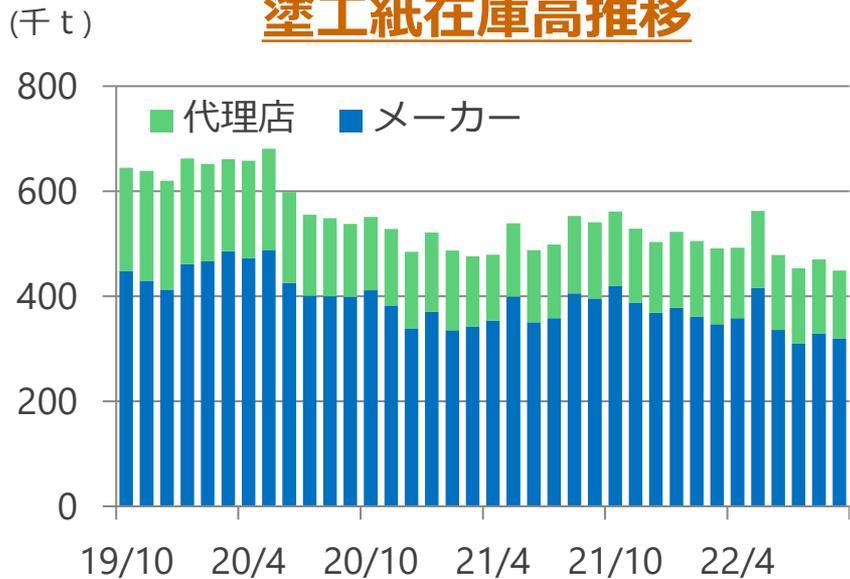


品種別価格動向

(2020年 = 100)



塗工紙在庫高推移



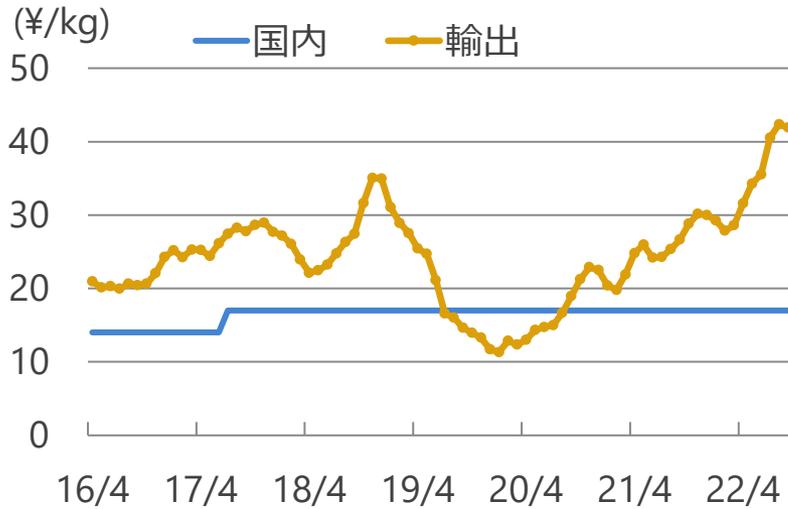
段原紙在庫高推移



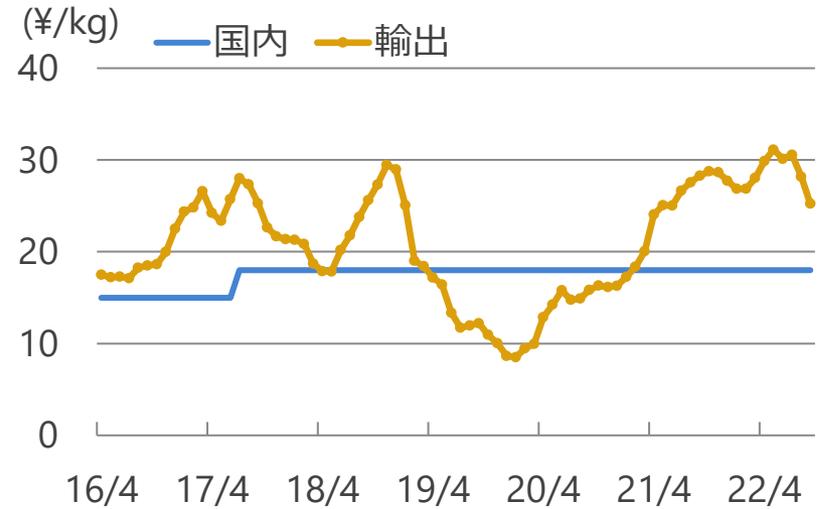
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」



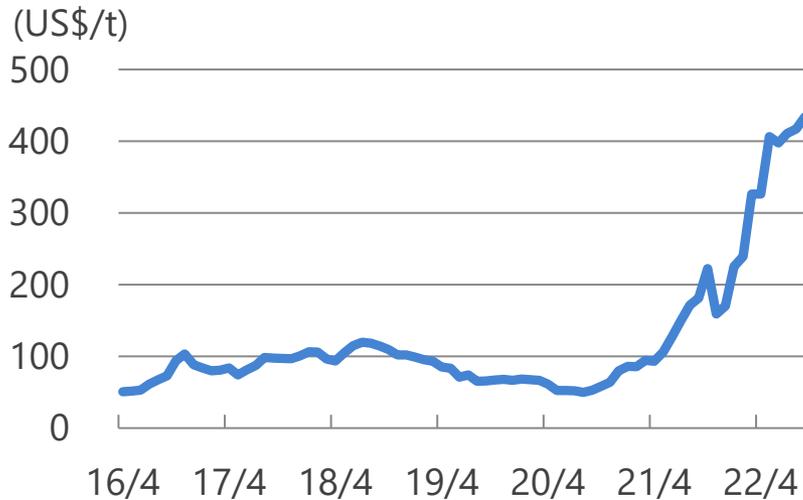
新聞古紙



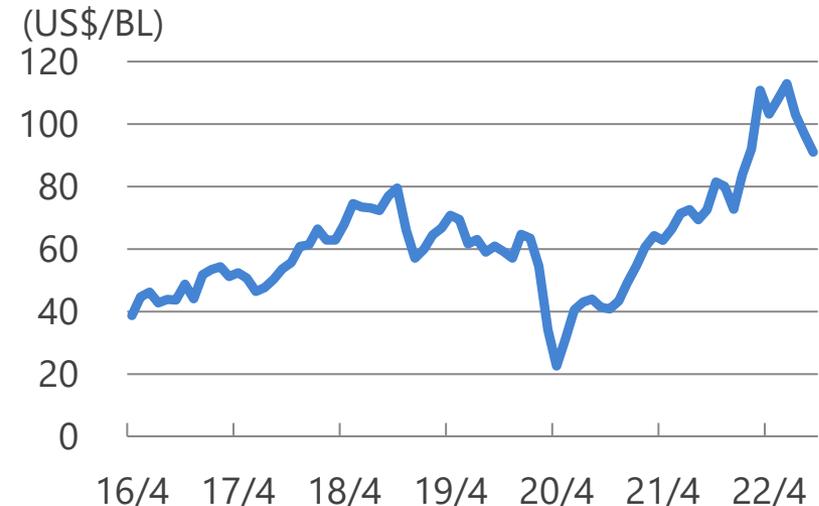
段ボール古紙



石炭



原油



日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

＜注意事項＞

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社